

【平成 30 年度名古屋大学 宇宙地球環境研究所 共同利用集会】
海洋波および大気海洋相互作用に関するワークショップ

開催日時：2019 年 3 月 4 日（月）午後、5 日（火）午前

会場：名古屋大学・東山キャンパス・研究所共同館 I-301 号室

<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/directions.html>

プログラム 1 日目

座長 鈴木 直弥（近畿大学）

13:00-13:30	沿岸部における長周期波の挙動に関する分析 松葉義直（東京大学工学系研究科）
13:30-14:00	準単色波列による干渉増幅機構 田村仁（港湾空港技術研究所）
14:00-14:30	気象庁波浪モデルの現状と課題 伊藤享洋（気象庁海洋気象情報室）

座長 田村 仁（港湾空港技術研究所）

14:45-15:15	外洋域における海面直下の3次元流速変動の観測について 根田昌典（京都大学大学院理学研究科）
15:15-15:45	渦相関法による海面フラックスの直接測定について 近藤文義（海上保安大学校）
15:45-16:15	ケーブル式海底水圧計による海面変動の観測 近貞直孝（防災科学技術研究所）

座長 鈴木 直弥（近畿大学）

16:30-17:00	陸奥湾と仙台湾における周期数時間の副振動 仲井圭二（株式会社エコー）
17:00-17:30	波浪・高潮の相互作用を考慮した高潮・波浪推算：2018年度台風21号への適用 金洙列（鳥取大学大学院工学研究科）

プログラム2日目

座長 根田 昌典 (京都大学)

9:30-10:00	水面波と乱流の直接数値計算 - 平均流理論との比較に向けて 藤原泰 (京都大学大学院理学研究科)
10:00-10:30	風波水槽実験の現況紹介 鈴木直弥 (近畿大学工学部)
10:30-11:00	RIAMから水槽実験中継 (YouTube生配信) 高垣直尚 (兵庫県立大学)
11:00-11:30	風から海洋表層流へのエネルギー入力について解釈のしやすい計算法 相木秀則 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)

コンビーナー：田村 仁 (港湾空港技術研究所)・鈴木 直弥 (近畿大学)・相木 秀則 (名古屋大学)